



## 製品安全データシート

会社名: コダック株式会社  
担当部門: コンシューマー & プロフェッショナルイメージング事業部  
所在地: 東京都中央区新川2 - 27 - 1 (〒104-0033)  
電話番号: 03(5540)9000 FAX: 03(5540)2253

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】  
(事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)  
9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)  
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999  
これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)  
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.200000152/F/USA/JP

承認日: 2001年2月4日

作成日: 2003年12月1日

### 1 製品名

コダック T-MAX 100 ダイレクト ポジティブ フィルム リバーサル プリーチ

CAT No.812 1188

1クォート用

### 2 危険・有害性の分類

[パートA] : 危険: 過マンガン酸カリウムを含有。  
眼に炎症を起こす。  
飲み込むと有害と予想される。

[パートB] : 危険: 硫酸を含有。  
眼に炎症を起こす。  
長期間あるいは繰り返しの接触により、皮膚に炎症を起こす。

[使用液] : 硫酸を含有。  
推奨された使用方法に従えば、危険性は低い。

3 | 物質の特定

混合物

(パートA)

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
水	95-100	007732-18-5	
過マンガン酸カリウム	<5	007722-64-7	

(パートB)

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
水	90-95	007732-18-5	
硫酸	5-10	007664-93-9	

(使用液)

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
水	95-100	007732-18-5	
硫酸	1-5	007664-93-9	
過マンガン酸カリウム	<1	007722-64-7	

4 | 応急措置

- 吸入した場合 : 症状が起きたら、空気の新鮮な場所へ移動する。症状が続くならば、医療手当てを受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに、多量の水で 15 分以上洗浄し、医療手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに、付着した衣類、靴などを脱ぎ、多量の水とセッケンで洗い、医療手当てを受ける。汚染した衣類、靴は良く洗って使用するか、廃棄する。
- 誤飲した場合 : コップ 1~2 杯の水を飲み、胃内で薄めた後、医師の手当てを受ける。

5 | 火災時の措置

- 消火手段 : 周辺の火災に対し、適切な薬剤を使用する。
- 火災時の特別対応手段 : 保護衣と呼吸用保護具を着用する。
- 有害燃焼物質 : なし
- 異常火災 / 爆発の危険性 : なし

6 | 漏出時の措置

大量の水で下水に洗い流す。

7 | 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 眼、皮膚、衣類に付着させない。適度な換気をする。取扱い後は、十分に手などを洗う。非アルカリタイプ(酸性)のハンドクリーナーを常用する、作業場を清潔に保つ、手袋の着用により皮膚への付着を最小限にする。
- 火災や爆発の防止 : 通常使用では、特に必要なし。
- 保管 : 密栓して保管する。

8 | 暴露防止措置

許容濃度 : ACGIH(TLV)  
Mnとしての過マンガン酸カリウム: 0.2mg/m<sup>3</sup> TWA  
硫酸: 1mg/m<sup>3</sup> TWA、3mg/m<sup>3</sup> STEL  
OSHA(USA)(PEL)  
Mnとしての過マンガン酸カリウム: 5mg/m<sup>3</sup>天井値  
硫酸: 1mg/m<sup>3</sup> TWA

換気 : 換気の良い場所で取扱う(10 air changes / 時間)。換気率は使用条件に適合しなければならない。

呼吸器系の保護 : 必要なし

眼の保護 : 側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡の着用。

皮膚の保護 : 不浸透性の手袋の着用。

浄化する設備 : 洗眼、身体洗浄の設備(シャワー)を推奨する。

9 | 物理・化学特性

	(パートA)	(パートB)	(使用液)
外観	液体	液体	液体
色	紫	無色	紫
臭気	無臭	無臭	無臭
沸点	> 100°C (> 212°F)	> 100°C (> 212°F)	> 100°C (> 212°F)
蒸気圧	24mbar (18mmHg) / 20°C	24mbar (18mmHg) / 20°C	24mbar (18mmHg) / 20°C
蒸気密度(空気 = 1)	0.6	0.6	0.6
揮発留分(重量)	95 ~ 100%	90-95%	95 ~ 100%
比重(水 = 1)	1.007	1.038	1.012
pH	7.0	< 2.0	< 2
水溶性	完全	完全	完全
引火点	なし(不燃性液体)	なし(不燃性液体)	なし(不燃性液体)

10 | 危険性情報(安定性・反応性)

安定性 : 安定

不適合物質 : (パートA) 強還元剤  
(パートB 及び使用液) 塩基

危険分解物質 : 二酸化硫黄

危険重合物質 : 知見なし

11 | 有害性情報(暴露の影響)

吸入 : 通常取扱いでは、危険性は少ないと予想される。

眼 : 炎症を起こす。

皮膚 : (パートA) 皮膚が褐色に染まることもある。  
(パートB) 長期間あるいは繰り返しの接触により、炎症を起こす。  
(使用液) 推奨された取扱方法にしたがえば、危険性は低い。

誤飲 : (パートA) 危険性は少ないと予想される。消化器系に炎症を起こすことがある。  
(パートB) 消化器系に炎症を起こすことがある。  
(使用液) 危険性が低いと予想される。

## 12 環境影響情報

(この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。)

本品の主成分に関するデータに基づいて本品の環境へ及ぼす影響を推測していますが、実際には試していません。以下の特性は、予測に基づいたものです。

予測される特性：  
水質系に流出した場合、BOD はなく、酸素を破壊する可能性もない。  
水中生物への影響は大きい。  
生物濃縮の可能性は少ない。  
大量の水で希釈すれば、直接間接的に自然環境に放たれても問題はないであろう。

## 13 廃棄時の注意

本製品を使用液で廃棄する場合：特別管理産業廃棄物に該当する。廃棄処理を委託する場合は、特別管理産業廃棄物処分業の免許を持った業者へ特別管理産業廃棄物管理表(マニフェスト)を添付して委託する。

廃棄時に該当する法規

廃棄物処理法 : 特別管理産業廃棄物(廃酸)  
水質汚濁防止法 : 生活環境項目  
下水道法 : 下水の排除の制限

## 14 輸送上の注意

航空輸送：IATA 規則の規定による  
国連番号(UN Number)： UN2796, UN1824

## 15 適用法令

労働安全衛生法：特化則(第3類)

## 16 その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、取り扱いには十分に注意して下さい。